



駅東に新たな矢板の“核” 文化スポーツ複合施設落成式典を開催

3月25日、このほど完成した文化スポーツ複合施設で、落成式典が開催されました。当日はスポーツ庁や県の関係者などが出席のもと式が挙行され、市長は、「市民の期待を背負い、市の未来を切り拓いていく施設」と式辞を述べ、施設建設工事や寄附をされた方々に対し感謝状を贈呈しました。式の後には記念アトラクションとして、矢板中・矢板小・東小合同の吹奏楽演奏が行われ、市の一大イベントに花を添えました。



▲(左から)三堂地副市長、佐貫議長、スポーツ庁 田中参事官、齋藤前市長、県生活文化スポーツ部 野原前部長、青木県議、塚原教育長



▲矢板中・矢板小・東小合同による吹奏楽演奏



▲小堀・那須特定建設共同企業体様へ感謝状を贈呈

“昔”あそびは“今”でも楽しい！ 昔あそび体験教室で子どもたちが夢中に

3月16日、生涯学習館で「昔あそび体験教室」が開催されました。当日は、コマ回し・けん玉・お手玉・紙でつぼうなどが用意され、親子連れが思い思いにお気に入りの昔あそびに熱中したほか、指導役を担った高校生や昔あそびボランティアとの多世代交流の場としても盛り上がりました。参加した子は、「最初は難しかったけど、コツが分かるようになると楽しかった。またやってみたい」と話しました。



▲紙でつぼうは順番待ちになるほどの人気。遊んだ後はわたあめのサービス

課題解決でまちに元気を 地域おこし協力隊員が活動報告と活動方針を発表

3月18日、生涯学習館で地域おこし協力隊員の活動報告会が開催されました。ふるさと納税・移住促進・林業など、各分野で活躍する6人は、令和5年度の活動報告と、今後の目標や抱負などについて話し合い、意見交換を行いました。

報告会后に行われた市長とのディスカッションで市長は、「現在、市が進めている事業とも密に連携し、相乗効果が生まれるような取り組みにつなげてほしい。そのためにも、より一層、協力していきましょう」と今後の6人の活躍を応援しました。



四十万直人
隊員



TAKIBI センター長、 ふるさと納税寄附額向上

民間企業勤務時代のノウハウを生かして企業版ふるさと納税を獲得しました。TAKIBI センター長として TAKIBI の活動もより活発化させていきます！

黒木彩乃
隊員



ふるさと納税寄附額向上、 高校生とのまちづくり

作製したふるさと納税のパフレットは好評をいただきました。高校生とのまちづくりは、さらにメンバーが増えれば活動の幅も広がるはずです。

坂和紀明
隊員



移住定住促進、 交流関係人口の拡大・創出

2月に着任したばかりですが、市で実施する25歳のつどいのようなミニ同窓会などを企画していきます。ほかにも交流人口創出のため、どんどん楽しい仕掛けを展開していきます！

林地残材加工製造 オリジナル商品開発

丸太からボウルやコップ、ボールペンを製作しています。オリジナルの刻印もできます。1人での作業なので、省力化と量産が今後の課題です。



室井拓也
隊員



激辛唐辛子栽培・加工 シカ食害対策

シカ食害からスギなどの苗木を守るための忌避剤の原料となる激辛唐辛子(辛富士)を栽培しています。より安定的に生産できるよう試行錯誤中です。



田村誠
隊員

地元産材を使った 小屋の建築

地元産材を使った小屋などを作り、いずれは観光農園とセットで、矢板市に人を呼び込めるような農園を作りたいと考えています。



佐川一郎
隊員

日本の絆
今こそ強く

令和6年
能登半島地震災害義援金を
受付しています。

やいた

なぜ？
こんなに多くの方が
ひろまの整骨院を
支持されているのか？

ヘルニア・坐骨神経痛 がまんしていませんか？

当院の技術が
書籍やDVDになりました

「広報やいたを見た」と電話で伝えてください
初めての患者様
お試し2回で
限定1日3名様
1,980円

ひろまの整骨院 HP
さくら市 ひろまの整骨院 検索

LINE予約はこちら

〒329-1311 さくら市氏家2532-7
050-8887-2312



「緑新スタジアム YAITA・大進電気グラウンド・システム興産スタジアム」みんな愛称で呼んでね!

3月14日と21日、市役所で矢板市運動公園内3施設のネーミングライツ契約締結式が行われ、それぞれの愛称が決定しました。

長年、地域とともに歩んできた3企業は、「地域の皆さんに愛される施設になってほしい」「少しでも地域のお役に立てれば」「たくさん利用してもらいたい」などと話し、市長は、「少しでも企業様の認知度向上につながれば」と感謝を述べました。



▲【継続】緑新スタジアム YAITA (陸上競技場)



▲【愛称変更】大進電気グラウンド (多目的グラウンド)



▲【新規】システム興産スタジアム (野球場)

エコモデルハウスがお食事・甘味処に 指定就労継続支援 A 型事業所「和と輪」オープン

3月26日、「道の駅やいた」敷地内にあるエコモデルハウスを改装し完成した「お食事・甘味処 和と輪」の内覧会が開催され、出席者には「リンゴあんみつ」や「焼いたまんじゅう」が振る舞われました。この店舗は、障がい者就労支援施設として、(株)テトテが運営を担うもので、甘味のほか、JA しおのや管内産の小麦を使ったうどんなどの食事も提供されます。(株)テトテの寺澤さんは、「障がいを持っている方が輝ける場として、また、お客様とつながり、地域の輪が育まれる場として、みんなに愛される店舗にしていきたい」と話しました。



◀メニューの一例 (左から) 焼いたまんじゅう リンゴあんみつ ピリ辛餃子うどん

合宿やスポーツツーリズムの拠点に 「城の湯」が宿泊機能を追加しリニューアル

4月2日、城の湯温泉センターで当施設のリニューアルオープン記念式典が開催されました。この改装では、城の湯2号館に宿泊施設が整備され、今後はリアンビレッジ矢板(とちぎフットボールセンター)や文化スポーツ複合施設などと連携し、大会・合宿の誘致に注力し、交流人口の増加をめざします。スポーツツーリズム連携室と観光協会もセンター内に移転し、名実ともに交流人口創出の大きな役割を担う施設として生まれ変わりました。



▲(左から) 高柳観光協会長、佐貫議長、青木県議、齋藤前市長、小林前区長会長、加藤川崎反町行政区長

TAKIBI × 学生で「あおぞら図書館」を開催 本が読みたくなったら、図書館へGO!

3月30日、図書館前から内川河畔で「あおぞら図書館」が開催され、主催するTAKIBIのインターン大学生・市の高校生団体 YAITA ALL DIRECTIONS (YAD)・矢板東高附属中の生徒らがボランティアで運営に参加しました。

当日は、本を紹介するポップ作りや、木製しおり作りなどのワークショップ、お薦め本を紹介しあうビブリオバトルなども行われ、さまざまなカタチで本と触れ合う機会創出の場として、多くの人でにぎわいました。

参加者は、「久しぶりに本が読みたくなった。本に親しい企画ですね」と話しました。



▲熱を帯びたビブリオバトル。ついつい足を止めて聞き入ってしまう人も



▲(上) 葉っぱや魚の形の手作りしおり作り (下) 堤防沿いの飾りつけ



▲河川敷で即席読書会

とちそうの家族葬

とちそうは2~3名の家族で送る葬儀から30名くらいの家族葬までおこなっています

とちそうの特徴

- できるだけ費用のかからない明細会計
- 資格を持った事前相談員がご希望の葬儀をご提案致します(無料)
- 亡くなられましたら会員は県内の病院・施設から無料で搬送(直送除く)
- 駐車場から室内すべてバリアフリーなので車椅子でも安心
- ご希望によりピアノの生演奏や故人の生涯を映像にしてお別れをします

猛暑から故人を守ります

異常な暑さの中、死亡から火葬までの間故人の尊厳と美しさを保つために、とちそうは保冷庫を2台用意しました。(令和6年6月中旬)

とちそう 翼ホール

株式会社とちそう 0287-43-4777(代)

アプリやSNSで最新ニュースを発信中!

yaita_city_official

矢板市

市公式

市公式

ともなりくん

公式アプリ